

### ■ 変動と変化への地域的対応



中央大学経済学部教授  
山崎 朗 様

#### 要職

国土審議会政策部会委員、産業構造審議会新成長政策部会委員、地域科学技術施策検討委員会委員 他

今日は、新横浜駅からひかり号で来たが、新横浜駅の次が豊橋ということで、1時間で着いた。豊橋で降りる方が大変多くて、意外にこの地域と首都圏のビジネスが関連しているのだなと驚いたところである。交通というのは非常に重要である。リニアについては、ルートの問題が注目されているが、開通するとこのエリアと神奈川県あるいは東京の西部が隣町になるということも重要である。非常に広域的な連携を可能とする、非常におもしろい、新しい地域連携ができるようになる。

私が住んでいる町田、相模原、八王子あたりは交通アクセスの悪いエリアで、新宿までは30分で行けるが、羽田空港までは、1時間半から2時間半ぐらい、成田空港までは確実に3時間以上は時間を見ておかないといけない。人口は、相模原、町田、八王子、多摩エリアの一部のエリアを入れるだけで、恐らく400万人である。400万人といえば、名古屋市以上であり、新幹線や旧帝国大学がないことはあり得ない。しかし、小さい、50万人ぐらいの町がばらばらとあるおかげで、相互に連携することなく力が発揮できないでいる。高知と愛媛の県境地域に、四万十川のある四万十市があるが、高知空港から3時間半ぐらいかかる。高速を使って3時間半走ってどこの空港にも着かないところは、実は

日本中そう多くはない。その四万十市で、市長さんと話をしたところ、松山空港からは2時間であり、愛媛県側ともっとつながりたい、非常に険しくすれ違いのできないような県境の道路を整備してほしいとのことであった。一方、高知県としてみれば、四万十川というのは高知県の大変に重要な観光地であり、お客さんを何とかして高知空港から行かせたいという思惑がある。四万十川の観光のポテンシャルが、県の思惑によって活かされていない気がする。

熊本と大分の県境も、阿蘇や高千穂などの観光地があるが、1つのルートでは回りにくい。また、県境をはさんで一方では商業高校がなくなり困っているが、片方では商業高校が残っている。しかし通学できないという状況がある。県境地域というのは一番の過疎地域で、境界があるということで様々な制約を受けている。しかし、今は県中心の枠組みになっており、非常に解決が難しい状況である。

実は4、5年前に、三河港の東京ポートセールスについて基調講演をさせていただいたことがある。佐賀県の伊万里港と比較させていただいたが、当時わずかに人口5万人の町にある伊万里港が三河港の2倍近いコンテナ貨物量があった。三河港の実力からすればこんな貨物量で済むわけがないということでエールを送らせていただ

いた。あつという間に貨物は伸びているようで、御前崎の方も想像を超える勢いで貨物量が増えているようである。やはりもともとこの地域は非常にポテンシャルのある地域だと思う。

私の出身の佐賀県の唐津市は、JRと地下鉄が相互乗り入れで福岡空港まで一本で行くことができ、買い物、通勤、通学もほとんど福岡の方に行く。佐賀県は、佐賀市を中心とする半径30キロメートル、人口150万人を圏域とする、佐賀大都市圏構想という構想を打ち出したが、都市としての吸引力がなく、うまくいかなかった。このエリアには、やはり浜松と豊橋という二つのツインシティ、吸引力のある大きな2大都市があり、このエリアを一つの圏域としてまとめ上げる力になっているということは間違いない。社会が大きく変わりつつある中で、それに対応していかざるを得ない。それは個人、企業、産業、地域も逃れられない。モビリティの高度化、情報のデジタル化、インターネットの活用については、皆さん15年前、20年前に今の状態になるとは考えてなかったのではないか。これから先、さらに我々は変化に適応していかなければならない。

現在、京浜港物流高度化推進会議の委員をしている。京浜港というのは東京港、川崎港、横浜港のことで、県境を越えている。私はこれに千葉港や船橋を加えて東京湾港とすべきだと思う。そしてその中で、合理的な投資をしたり、役割分担をする時代が来たのではないかと思う。今、貨物の取り合いなど市や都の戦いの中で、地域や企業のためとなる港湾整備が妨げられている。

社会実験を4、5年前から始めた。横浜港で降ろした東京方面の貨物、東京港で降ろした横浜方面の貨物を、道路や内航船ではなくて、港の間で小さなはしけにより移動させることによって、交通渋滞を防ぎつつコストを下げるというものである。この取り組みを対岸の千葉県側にまで拡張しようすると、京浜港には千葉県は含まれないということで、当初はうまくいかな

かった。

東京港では、コンテナ埠頭に大水深を新たに作るための埋め立てを行ったが、その際千葉県県の県境より先が埋め立てできずコンテナターミナルの形がいびつになった。また、成田空港と羽田空港の話も聞いていても、国内線と国際線を切り離すことで世界の中での東京の魅力をどんどん衰退させている。全体として利便性の高い社会資本のあり方は何なのかということの本気で考える時代になった。

45フィートコンテナについては、5、6年前から港湾の専門家が、香港やシンガポールにおける45フィートコンテナの急増に鑑み、日本の港湾や付随する道路の整備を提言していたが、当時は関係者には理解してもらえなかった。ところが昨年になって45フィートコンテナが出てきて、大変なことになると慌てている状況である。

今日は川の話があったが、天竜川と豊川をもう一度使ってみるのはどうか。私は、京浜港物流高度化推進協議会で川を利用した物流を提言している。荒川沿いのホンダの狭山工場やその周辺の部品工場にアンケートをしてみても、川を利用した物流に賛同する会社が非常に多かった。

空港については、新幹線が走るルート上に国際空港がほとんどない状況である。日本という国は長期的な将来のことを考えないまま国土形成計画をやってきた。全体の計画がないままに来ており、手直するのが本当に難しくなってしまったと思う。

製造業の雇用者比率はこれからも低下していく。農業を活性化しても雇用は生まれない。1次産業で働く人はヨーロッパでは1%切っている。それだけ生産性が高いということである。日本も生産性を高めて国際競争力を上げないといけない。現在基本的には、第3次産業しか伸びないため、都市機能がないところでは非常に厳しい状況である。

韓国もいずれ大変な人口減少になる。20年ぐ

らい先だが、中国も人口減少に入っていて、超高齢化する。地域づくりで一番大事なことは、やはり本当に子供を産み育てやすい地域づくりをもう一度真剣に考えるということである。子供たちが生まれ育っていく良い環境を、我々はつくれなかったところがある。人口が急増したから仕方がないが、あわててやっつけ仕事で、公団住宅をバタバタ建ててしまった。ドイツでは公団住宅を3分の1ぐらいにし、それにより広場ができて子供たちもゆっくりと遊ぶことができるようになった。そういうまちづくりを是非しなければならぬ。

2050年のイメージは、国土の3割ぐらいに国民の9割ぐらいが住み、残りの7割ぐらいには国民の10%ぐらいしか住まないという非常にアンバランスな状態になる。恐らくこの地域においても、中山間地域と人口の多い都市圏とを比較すると、すごい状況である。国土の10%ぐらいに国民の8割近くが住んで、国土面積の6割ぐらいに国民の数パーセントしか住んでいないという実体になる。人口分布が乖離して、全く同じ生活を維持していくことは大変難しい。国民は必ず小学校、中学校への通学もできなくなってくる。インターネットを利用した教育が必要となってくる。

都市圏というものは、中心都市が10万人ぐらいで、周辺に30万人ぐらいいないと、買い物、医療、福祉ができない。できるだけこういった都市圏が国土上に分散していることが国民の福祉にとって極めて重要である。しかし、将来残り得る都市圏は、もうこの段階で82しかない。国土の末端とか県境地域の中山間地域には都市は残らない。この県境地域、それから末端に血液の循環が行かなくなるのが非常によくわかる。

国土形成計画の「国土の均衡ある発展」とは、「地域間格差の是正」とは何かはつきりせず、中身のわからないままみんな賛成していた。大きな病気をした場合、どうするのか。高校に行こうとか、福祉の学校へ行こうと思ったらどこに行くのか。一定規模の都市に行かないと勉強

できない。だから、結局はどこかに行かなければいけない。そうすると、広域的な中で、実は県境を越えて行った方がいいというエリアもいろいろなところで出てくる。必ずしもそのエリアの中で完結するということはない。

皆さん方はご存じのように、県境地域にさまざまな問題がある。いろいろなプロジェクトの補助金は県に出される。しかし、やはり県ではなくて、それぞれの複数の市や広域的なこの地域が連携して助成金が取れてプロジェクトができるようなものをつくっていく必要がある。

日本という国は東京と大阪にどうつながるかということばかりやっているところなので、これは大都市でも、縦ラインは本当に日本中弱い。地域間格差を是正するというような話もほとんど終焉しており、困っているから助けてほしいということではお金は下りない。

これから先、やはり日本が生きていく道はイノベーションで、大学の知恵を用いながら新しい製品開発していくことが重要である。地域振興の考え方を新しいアイデアに変えていかなければいけない。今まではほおっておいても地域間格差が是正されたが、今は、良いものにしかお金は回らない。

これから先、都市というのが大変重要になり、やはり地域の中にどれだけ都市機能を持っているかということになる。よって、人口を増加させていくことを考えなければならない時代に来たという気がする。

ちょうど時間がきたので、私の話はここまでさせていただきます。ご清聴どうもありがとうございました。

